



若竹だより



【私たちの願い】

①よろこんで与える人間となろう

②いのちを大切に作る人間となろう

③こころ静かに考える人間となろう

④使命に生きる人間となろう

⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業

①四国八十八ヵ所巡礼者無料宿泊&お接待

②講演会・シンポジウム等



分校完成

【巻頭言】

新園長着任のご挨拶

園長 宮脇 景子

4月から宮竹恒園長の後任として、若竹学園の園長を務めさせていただくことになりました宮脇景子でございます。

ようやく児童心理治療施設の基本となる総合環境療法の一本柱の教育環境が整いました。小・中学校においては分校設置、高等学校においては通信制高校の学園内分教室設置準備が出来ました。

これもひとえに行政関係の方々をはじめ大勢の方の御支援の賜物と感謝いたします。

宮竹園長のもとで、子どもの支援方法から施設運営等について様々なことを学ばせていただきました。まだまだ十分とは言えませんが、若竹学園に入所することにより、今まで当たり前前に出来ていたことが少しでも制限されないように、また入所したことにより様々な経験ができたと感じてもらえるような、居心地の良い施設作りを職員とともに行っていきたくと思っています。

今度とも変わらぬ御指導・御鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

教生統括長着任のご挨拶

教生統括長 宮竹恒

新年度より、教生統括長として新たな役割を担わせて頂くことになりました。

園長在任時、多くの方々のご支援を賜り、分校設置が出来ましたことにあらためて厚く御礼申し上げます。

今後は、教生統括長として、総合環境療法における、生活・教育・家庭・関係機関との「架け橋」の役割を果たしていきます。

さて、近年、心のケア、対人関係スキルの習得を必要とする高校生が増加傾向にあります。学園としても、中学卒業後の継続支援が出来る体制を整える必要があります。様々な理由で高校進学が困難な子どもへの支援が求められていると考えています。

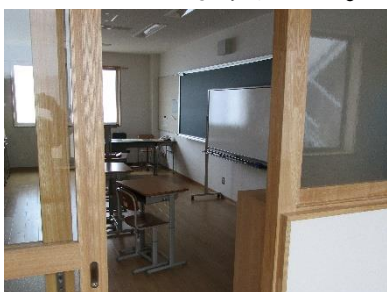
子どものニーズを満たすため、通信制高校と連携しさらなる教育支援の充実に努めていく所存です。

今後とも何卒、御指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

青峰・若竹学級だより 3月

新校舎完成 昨年の夏から建設工事をしてきた新校舎がついに完成し、若竹学園に引き渡されました。17日には、女子棟の1階に間借りしていた分級の荷物を新校舎に移動させました。

新校舎には、小学校教室が2室、中学校教室が3室、職員室、図書室、理科・家庭科室、美術・技術室、音楽室、会議室などがあり、これまでとは違い、ゆとりのあるスペースになりました。



終業式・離任式 3月24日には新校舎のホールにて終業式と教職員の離任式が開催されました。終業式は、小学生3名、中学生5名が参加しました。離任式は卒業生6名も参加し、転退任で分級を離れる先生方とお別れをしました。



分級から分校へ 新しい名称は「五色台分校」

4月1日からは高松市立下笠居小学校・下笠居中学校「五色台分校」となり、新しい体制で学習活動を行います。



3月20日、卒業証書授与式を執り行いました。保護者の方々はもちろんのこと、お世話になっている原籍校の先生方、児童相談所の方々、学園でお世話になっている方々に見守られ、厳かに行われました。



子どもたちは、いつもとは違い緊張した様子で粛々と式に参加していました。

中学3年生は、4月7日に開校する分校で授業を受けることも教室に入ることも一度もありませんでした。

学校側の配慮で式典を多目的ホールで行うことができることを知ると喜び、一緒に式典の準備に積極的に取り組んでくれました。

本当にありがとうございました。とても良い思い出になったと思います。



【第1部 レクリエーション】

楽しい雰囲気の中、各グループに分かれてクイズや叩いてかぶってジャンケンポンなどのミニゲームをしました。大人と子どもの対決もありましたが、真剣勝負で子どもも嬉しそうな様子でした。○×クイズで、大人でも知らないような問題を答えている子もおり、大活躍でした。



【第2部：お菓子バイキング】

子どもたちは、クレープと団子、ジュースを好きな種類から選ぶことができ、喜んでいました。思い出の映像をスクリーンに映して、子どもや大人も笑いや懐かしむ様子がありました。お別れ会のゲームで獲得したポイントで景品が貰えて嬉しそうでした。

ホワイトデー

3月行事



14日のホワイトデーに備えて、クッキーを作りました。クッキーの生地を上手く、ひとまとまりに出来なかつたり、焦げたりしてしまう事がありました。最後まで諦めずに取り組みました。

子どもたちが笑顔で「失敗は成功の元！」
「失敗した方が美味しい物が作れる」と話していたのが印象的でした。最終的には、サクサクの美味しいクッキーが出来上がり、皆も嬉しそうでした。



おもてなし処

遍路小屋の外のウッドデッキ部分が長年の雨にさらされ腐食してきていたので、中3生



が協力して板の貼り替え等の補修作業を行いました。子どもたちと悪戦苦闘しながら作業をしていると、2人の男性のお遍路さんが声を掛けてくださり、補修作業を手伝っていただきました。思いもよらぬ助っ人

参上に感謝を込めてお接待をさせていただくと感謝の言葉をいただきました。お互いに感謝を伝え合い暖かい気持ちになりました。

11日	図書館
12日	ホワイトデーお菓子づくり
13日	買物外出
24日	お別れ会
25日	図書館

在籍人数

令和5年4月1日現在

区分	県内(人)	県外(人)	合計(人)
小学生	1	0	1
中学生	5	1	6
高校生	2	0	2
一時保護	2	2	4
合計	10	3	13

編集後記

早春の候、寒かったり暖かかったりする日が続いていますが、子ども達は元気に過ごしています。新年度の準備に向けて慌ただしい時期ですが、子ども達と一緒に健康に気を付けながら過ごしたいです。

小田

第438発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160

ホームページ <http://4on.or.jp>

Eメール wakatake@4on.or.jp

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 宮脇 景子

